

食育推進プロジェクト実施報告書

支部名 京都 支部

実施担当会員社名	<u>(有) 高山園芸</u>	
実施校名	<u>京都市立 終野小学校 小学校 6年生 3クラス 合計 113名</u>	
実施期間	<u>平成21年9月28日～12月16日</u>	
栽培品目（品種）	<u>カブ</u>	
提携協力先	京都青果合同株式会社	
実施概要	時期	内 容
	<u>(例) 4/上</u> <u>9月下旬</u> <u>10月中旬</u> <u>12月中旬</u>	<u>(例) 定植実習</u> <u>播種 (プランター土入れ)</u> <u>間引き 土寄せ 追肥</u> <u>収穫 調理実習</u>
学校からの評価	<u>種からの野菜栽培 収穫 調理実習を指導して頂き 教師では子供に体験</u> <u>させにくい事が出来たことを感謝しているとの事でした</u> <u>次の 6年生の予定に入れますとおっしゃいましたが 未定ですと申し上げ</u> <u>ると 出来ればお世話になりたいとお話になってました。</u>	
児童からの声	<u>プランターで 小さな種から野菜が出来る事に 感動。</u> <u>種が カブになっていく事の不思議。種から野菜になるまでの 手間暇 時</u> <u>間の多さに驚くと同時に 野菜を大切に食さなければとの声あり</u> <u>収穫したカブ 捨てる所無く全部食せた事への驚き</u>	
実施担当者の感想 今後の課題・要望	<u>栽培資材(土 プランター) 種子の品種など 具体的な指示と 播種期 収</u> <u>穫期の有る程度の指示が有ればと思う。</u> <u>子供に野菜作りのおもしろさ を学ばし 将来 次世代に向けての販売源開</u> <u>拓として必要とは思いますが 小さな個店にとっては 少々ツライものがあっ</u> <u>た。</u>	

食育推進プロジェクト実施報告書

支部名 京都府支部

実施担当会員社名	<u>大原種苗株式会社</u>	
実施校名	<u>京都市立 日野小学校 5年生 3クラス 合計90名</u>	
実施期間	<u>9月24日 ~ 12月17日</u>	
栽培品目（品種）	<u>小カブ（耐病ひかり）</u>	
提携協力先	(例) JA〇〇、NPO 法人〇〇 京都青果合同株式会社	
実施概要	時 期	内 容
	(例) 4/上 9/24 10/6 12/4 12/17	(例) 定植実習 播種 間引き 追肥 収穫、調理
学校からの評価	日野小学校では、菜園や緑のカーテンなど独自で作り、先生がいろいろと工夫を凝らしておられ、このような食育推進プロジェクトについても関心をもたれていましたので今回の様な話があれば、今後もやって頂きたいとおっしゃっておられました。	
児童からの声	児童からは特になく、作業に対しての質問でした。 またタネまきから収穫、調理と行ってきましたが、最後の調理が一番楽しく行っていたのではないのでしょうか。	
実施担当者の感想 今後の課題・要望	今回行わせて頂き、生徒にわかりやすい説明という事で、私自身ももう一度勉強し直し、原点に戻った感じでした。 今後については、担当地域が近いと足を運びやすい。 それと農薬についても考えて頂きたいと思います。	

食育推進プロジェクト実施報告書

支部名 京都府支部

実施担当会員社名	<u>(有) 高山園芸</u>	
実施校名	<u>京都市立 柵野小学校 6年生 3クラス 合計 113名</u>	
実施期間	<u>平成21年9月28日～12月16日</u>	
栽培品目（品種）	<u>カブ</u>	
提携協力先	京都青果合同株式会社	
実施概要	時期	内 容
	<u>(例) 4/上</u> <u>9月下旬</u> <u>10月中旬</u> <u>12月中旬</u>	<u>(例) 定植実習</u> <u>播種 (プランター土入れ)</u> <u>間引き 土寄せ 追肥</u> <u>収穫 調理実習</u>
学校からの評価	<u>種からの野菜栽培 収穫 調理実習を指導して頂き 教師では子供に体験させにくい事が出来たことを感謝しているとの事でした</u> <u>次の 6年生の予定に入れますとおっしゃいましたが 未定ですと申し上げると 出来ればお世話になりたいとお話でした。</u>	
児童からの声	<u>プランターで 小さな種から野菜が出来る事に 感動。</u> <u>種が カブになっていく事の不思議。種から野菜になるまでの 手間暇 時間の多さに驚くと同時に 野菜を大切に食さなければとの声あり。</u> <u>収穫したカブ 捨てる所無く全部食せた事への驚き</u>	
実施担当者の感想 今後の課題・要望	<u>栽培資材 (土 プランター) 種子の品種など、具体的な指示と播種期 収穫期のある程度の指示があればと思う。</u> <u>子供に野菜作りのおもしろさを学んでもらい、将来次世代に向けての販売源 開拓として必要とは思いますが 小さな小売店にとっては 少々ツライものがあった。</u>	

食育推進プロジェクト実施報告書

支部名 京 都 府 支 部

実施担当会員社名	株式会社 タカヤマシード	
実施校名	<u>京都市立 待鳳小学校</u> <u>6年生</u> <u>2クラス</u> 合計 <u>80名</u>	
実施期間	平成21年4月20日 から 平成21年9月29日まで	
栽培品目（品種）	ナス （千両2号）	
提携協力先	(例) JA〇〇、NPO 法人〇〇 京都青果合同株式会社	
実施概要	時 期	内 容
	(例) 4/上	(例) 定植実習
	4月20日	学校との打ち合わせ
	5月15日	食べ物、農業、ナスについての授業とナス苗植え付け
	6月 9日	支柱立て、誘引
	6月19日	追肥
	7月 1日	圃場調査
	7月21日	まとめ授業
	9月29日	後片付け
学校からの評価	校長先生や担当の先生方は、有意義な教育ができて喜んでおられたが、高評価を得られた反面、当初から本格的に年間カリキュラムに組み込む計画性が必要との声もあった。	
児童からの声	生育途中の作業面で時間的な制約などのため児童だけでは出来ない作業もありこちらがする事も多かったが、いざ個々の自分の苗場に立つと積極的な質問も多く出て作業する“よろこび”も大きいようである。	
実施担当者の感想 今後の課題・要望	今回の授業を機に野菜、農業、あるいは食についての興味を一人でも多くの人が抱いてくれれば幸いです。 年間通しで教育カリキュラムに組み込まれる計画が必要か。指導方としても、もっと時間的なゆとりがほしい。 野菜を収穫する喜びや収穫するまでの苦労が体験でき子供たちにとって貴重な機会を与えることができたと思います。	

食育推進プロジェクト実施報告書

支部名 京都府支部

実施担当会員社名	大原種苗株式会社	
実施校名	<u>京都市立 南太秦小学校</u> <u>5年生</u> <u>2クラス</u> <u>合計62名</u>	
実施期間	<u>5月18日</u> ～ <u>7月13日</u>	
栽培品目（品種）	<u>茄子</u> （千両2号）	
提携協力先	(例) JA〇〇、NPO 法人〇〇 京都青果合同株式会社	
実施概要	時 期	内 容
	(例) 4/上	(例) 定植実習 茄子定植（実習）、講演 定植後の灌水、支柱立て 支柱立て、誘引（1段目）、しきわら、水やり 第1回目収穫 誘引（2段目）、追肥、化成肥料 講演、料理
学校からの評価		
児童からの声		
実施担当者の感想 今後の課題・要望		

食育推進プロジェクト実施報告書

支部名 京 都 府 支 部

実施担当会員社名	<u>タキイ種苗株式会社</u>	
実施校名	<u>京都市立 西京極西小学校</u> <u>5、6年生</u> <u>4クラス</u> <u>合計 85名</u>	
実施期間	<u>2009年5月20日～7月9日</u>	
栽培品目（品種）	<u>ナス（筑陽）</u>	
提携協力先	(例) JA〇〇、NPO 法人〇〇 京都青果合同株式会社	
実施概要	時 期	内 容
	(例) 4/上	(例) 定植実習
	5/20	室内食育講義、定植実習
	6/4	わき芽かき、支柱立て、防虫実習
	6/25	誘引実習
	7/6	まとめ授業
7/9	調理実習	
学校からの評価		
児童からの声		
実施担当者の感想 今後の課題・要望		

食育推進プロジェクト実施報告書

支部名 京 都 府 支 部 _____

実施担当会員社名	タキイ種苗株式会社	
実施校名	京都市立 明 親小学校 6年生 3クラス 合計 96名	
実施期間	2009年5月18日～7月9日	
栽培品目 (品種)	ナス (筑陽)	
提携協力先	(例) JA〇〇、NPO 法人〇〇 京都青果合同株式会社	
実施概要	時 期	内 容
	(例) 4/上	(例) 定植実習
	5/18	室内食育講義、定植実習
	6/1	わき芽かき、支柱立て、防虫実習
	6.19	誘引実習
	7/9	まとめ授業 ※後日、学校独自で調理実習を実施
学校からの評価	学校長も含めて取り組みに対しては非常に好意的であった。 また定期的な訪問による栽培指導に一定の評価があった 又、途中何度か見学された市教委担当者からも評価が高かった。	
児童からの声	当初の想像以上に熱心な参加姿勢が見受けられた ナス嫌いが食べて「美味しかった」という声も多かった	
実施担当者の感想 今後の課題・要望	市教委からの推薦校での実施となる為、都市部の学校での実施となる 傾向が強く、どうしても袋栽培になってしまう。本来であれば圃場での 実施が望ましい。又、学校長などは前向きでも、現場の教員は積極的で ない面が目立った。学校側とのスケジュールの調整に最も苦心した。	

食育推進プロジェクト実施報告書

支部名 京 都 府 支 部

実施担当会員社名	<u>丸種株式会社</u>	
実施校名	<u>京都市立 洛中小学校</u> <u>5年生</u> <u>1クラス</u> <u>合計30名</u>	
実施期間	<u>2009年5月11日～7月8日</u>	
栽培品目（品種）	<u>茄子（黒雄）</u>	
提携協力先	(例) JA〇〇、NPO 法人〇〇 京都青果合同株式会社	
実施概要	時 期	内 容
	(例) 4/上	(例) 定植実習
	5/11	茄子の授業の後、校庭にて定植実習（花壇栽培15名、袋栽培15名）
	6/1	支柱立て、誘引、追肥及び防虫実習
	6/16	穴肥追肥、誘引作業
	7/3	誘引、追肥及び一部収穫。弊社農場より様々なタイプのナスを持参し見てもらう。
7/8	調理実習	
学校からの評価	野菜作りの体験実習は各学年で取り入れているが、この様に栽培の専門家による指導は大変参考になった。ちょっとしたコツ（誘引や追肥の仕方）を教えてもらう事によって、今までにない美味しいナスが収穫出来た。	
児童からの声	今までナスは少ししか食べられなかったけど「チーズのホイル焼き」をして好きになった。ナスは花や小さい時の実がとてかわいく、又育てたくなった。	
実施担当者の感想 今後の課題・要望	市街地や小学校での日当たりが心配されたが、一部樹木を伐採するなどされ日照量は十分であった。熱心な生徒達で様々な質問もその都度あり、関心の高さが伺えた。スケジュールの都合で調理実習に立ち会えなかったのが残念だった。早めの予定立案が今後の課題となった。	

食育推進プロジェクト実施報告書

支部名 京都府支部

実施担当会員社名	<u>丸種株式会社</u>	
実施校名	<u>京都市立 砂川 小学校</u> <u>6年生</u> <u>2クラス</u> <u>合計74名</u>	
実施期間	<u>2009年9月29日～12月10日</u>	
栽培品目（品種）	<u>小カブ</u> <u>（胡蝶）</u>	
提携協力先	(例) JA〇〇、NPO 法人〇〇 京都青果合同株式会社	
実施概要	時 期	内 容
	(例) 4/上	(例) 定植実習
	9/29	前半、教室内にて基本的な説明をパワーポイントを使い行う。その後、校庭にてプランターに播種（3人ごと）。覆土、灌水ののち、虫除けネットを覆い、作業を終わる。
	01/9	ネットをはずし、1～2cm 間隔で間引きを行う。降雨により適湿だったので、灌水せずそのままネットで覆う。
	10/19	最終間引きを行う。株間5～6cm とする。
	10/21	徒長ぎみになっていた為、日当たりの良い所にプランターを移動させる。
	11/2	ネット除去。目立った虫害無し。
	12/10	収穫及び調理実習の日程が合わず、学校に一任する。
学校からの評価	栽培体験を通じて小さいタネが立派な野菜に育つ事に感動したり、世話を する事の大切さを知る良い機会になった。	
児童からの声	タネを蒔きすぎてもやしの様になったり、まばらな所は変な形（だるまの 様な）の根っこになった。 カブの事はあまり知らなかったが、大根より柔らかくおいしかった。	
実施担当者の感想 今後の課題・要望	馴染みの少ない「カブ」だけに最初興味を示してもらいにくかった。 もう少し日当たりの良い場所で栽培すべきだった。 無農薬による栽培の為病虫害の被害が心配されたがネットの利用で防げた。 学校側と日程が合わず最終の収穫及び調理が一緒に出来ず残念だった。 児童からの関心度及び学校行事に合った品目を考慮すべきか？	

食育推進プロジェクト実施報告書

支部名 京都府支部

実施担当会員社名	<u>株式会社 タネ源</u>	
実施校名	<u>京都市立 修学院第二小学校 4 年生 2 クラス 合計 54 名</u>	
実施期間	<u>平成21年 9月 25日 ~ 12月 15日</u>	
栽培品目（品種）	<u>カブ（耐病ひかり）</u>	
提携協力先	(例) JA〇〇、NPO 法人〇〇 京都青果合同株式会社、タキイ種苗株式会社	
実施概要	時 期	内 容
	(例) 4/上	(例) 定植実習
	9/25	カブのプランター作り 3人に1プランター 食育授業 45分(室内) → タネまき実習(校庭) タネまき、寒冷紗かけ
	10/13	間引き、土寄せ
	12/15	収穫、調理実習
学校からの評価	<u>児童達にカブの育て方をタネまきから収穫・調理まで、 専門的に指導してもらい、感謝しております。</u>	
児童からの声	<u>小さなタネから、こんなカブラが出来るなんて不思議です。 これからは花ばかりでなく、野菜も育てます。</u>	
実施担当者の感想 今後の課題・要望	<p>① <u>本年は、残暑・多雨など、気象条件が悪かった。</u></p> <p>② <u>ある一部の児童が、指導に従わない。 → 大都市の学校では、 教師もあまり注意しない。</u> 同業者に聞いた話だが、地方では児童自体が素朴で指導に従う。 家庭教育・学校教育の在り方も課題である。</p>	

食育推進プロジェクト実施報告書

支部名 京 都 府 支 部

実施担当会員社名	タキイ種苗株式会社	
実施校名	<u>京都市立 小 野 小学校</u> <u>6年生</u> <u>3クラス</u> 合計112名	
実施期間	<u>2009年9月15日</u> ~	
栽培品目（品種）	<u>カブ</u> （耐病ひかり）	
提携協力先	(例) JA〇〇、NPO 法人〇〇 京都青果合同株式会社	
実施概要	時 期	内 容
	(例) 4/上 9/15 9/29 12/中	(例) 定植実習 室内食育講義、タネまき実習 間引き、追肥実習 収穫、調理実習
学校からの評価	校長等は協力的であったが、担任教員の協力姿勢が低かった。	
児童からの声	クラスにより参加意欲が異なった。 ナスに比べて面白みが欠けるのか、あまり世話をしていない様なクラスもあった。	
実施担当者の感想 今後の課題・要望	ナスより指導は簡単かと思ったが、虫害や播種、間引き方法により栽培の出来に大きな差が生じた。 果菜よりも難しいと感じた。	